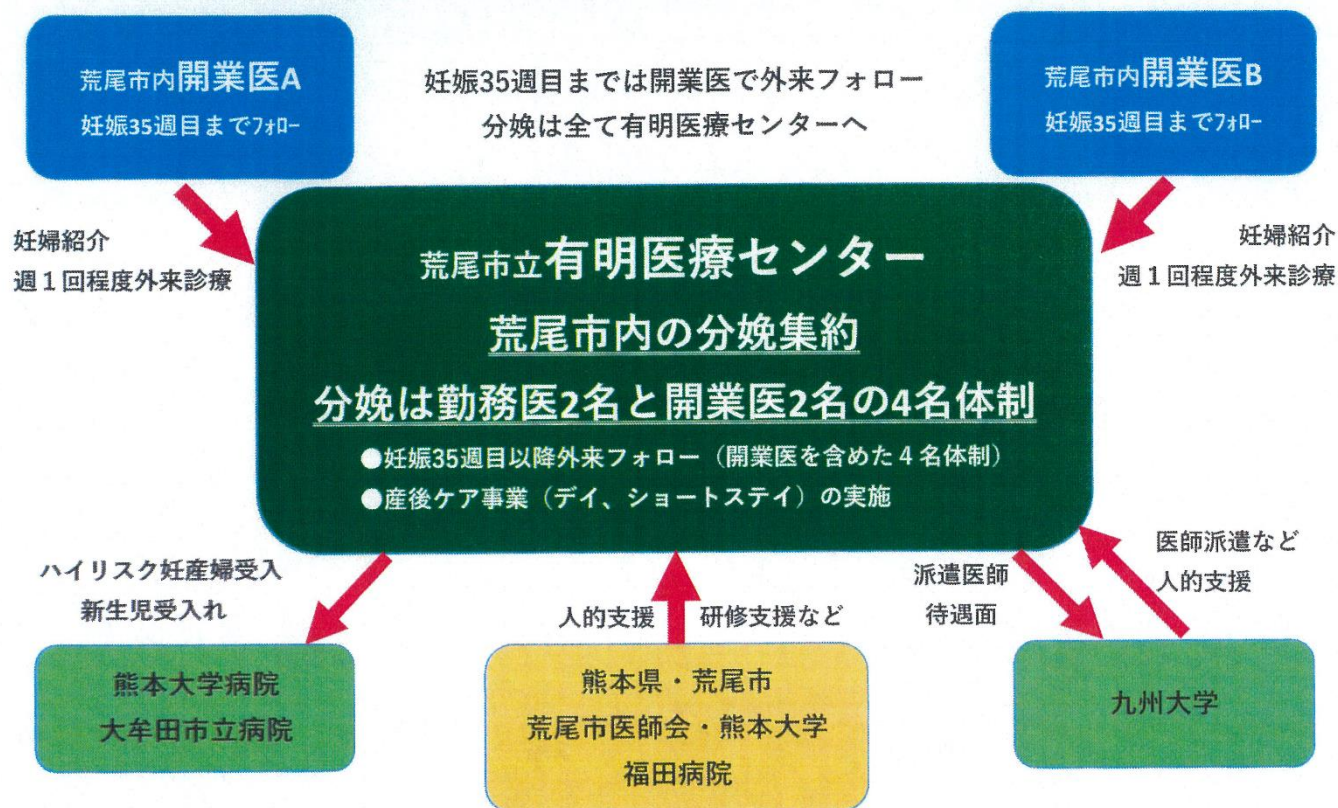


荒尾市 周産期医療の連携体制のイメージ



□ 荒尾市周産期医療システムの流れ

【分娩施設の集約】

・ 荒尾市内の産婦人科開業医2名と有明医療センター勤務医2名の計4名が協力し、荒尾市内の分娩を有明医療センターに集約し対応。

【分娩前フォロー】

・ 妊娠35週目までは、それぞれの開業医で外来フォロー。それ以降は、有明医療センターへ紹介。

・ 妊娠35週目以降は、有明医療センターで外来フォロー。開業医2名も週1回程度外来診療を担当し、勤務医も含め4名体制で対応。

【分娩対応】

・ 分娩対応は、開業医2名と勤務医2名の計4名で対応。（平日夜間オンコールも4名体制で対応）

・ 休日及び休日夜間オンコールは、外部からの応援を依頼する（熊大医師）

・ 新生児の体調等に問題がある場合、有明医療センター小児科医も1次対応を行うが、基本的に大牟田市立病院か熊本大学病院に対応を依頼する。

・ 小児科医師の派遣について、九州大学より応援ある予定。

【分娩後フォロー】

・ 有明医療センターにおいて、産婦健診、産後ケア（デイ・ショートステイ）の実施。新生児聴力検査を実施。

荒尾市民病院（荒尾市立有明医療センター）第三期中期経営計画の一部改正

第8章 役割・機能の最適化と連携の強化

第3節 担うべき医療機能（5疾病5事業＋新興感染症対策）

旧計画	変更（案）
<p>（8）周産期医療</p> <p>地域周産期中核病院として、快適な 出産環境を充実させるだけでなく、 ハイリスク分娩にも十分対応できる体 制を整える。</p>	<p>（8）周産期医療</p> <p>地域周産期中核病院として、快適な 出産環境を充実させるだけでなく、 ハイリスク分娩にも十分対応できる体 制を整える。</p> <p><u>さらに、荒尾地域の周産期機能を維 持するために、当院と市内産婦人科医 療機関の産科医師が一体となり、分娩 機能を当院に集約化する新たな仕組み として周産期医療システムを構築し、 安心して出産できる環境を維持、発展 させる体制の強化を図る。</u></p>